

令和5年7月4日
令和5年度 第1回長野市総合教育会議
資料1

教育支援センター

「SaSaLAND」の開設について



令和6年4月開所

長野市教育委員会 学校教育課



子どもたちのために子どもたちと作る居場所の創設

コンセプト **子どもたちが安心を実感できる居場所**

- ・自分らしくいられる → 自己決定、自己実現を応援する場所
- ・自分を受け入れてもらえる → 自分を理解してくれる大人に見守られる場所
話を聞いてくれる大人がいる場所
- ・自分のペースで学べる → 「何もしない」でもOKな場所
メタバース内で自宅からでも通える場所
- ・保護者の気持ちや和らぐ → 心理や福祉等の専門家に相談できる場所
保護者同士が繋がり、話し合える場所
- ・大人が理解を深められる → 保護者、教職員、地域住民が学べる場所

対象者 長野市内の不登校もしくは不登校傾向にある小・中学生

※中学卒業後、18歳までの若者や近隣市町村の児童生徒の受け入れを検討

柱① 子どもたちの社会的自立に向けた支援

地域との交流活動

- ・子どもが地域へ出向き交流する活動
- ・地域の方がSaSaLANDにお越しになって交流する活動
- ・飼育、栽培、制作活動に地域の方が参加

近隣校等との交流

- ・七二会小学校や長野西高校中条校との交流推進

自然体験活動の充実

- ・七二会地区の自然にふれながら、体験活動を実施
- ・キャンプ等の非日常の体験

メタバースを活用したオンライン活動

- ・マインクラフトを使用して活動する

キャリア教育の充実

- ・民間団体と連携し、職業体験など実施

給食の提供





柱② 保護者への支援

**目的：不登校の子どもを持つ親の孤独感の軽減
子ども支援に有効な知識・技能の獲得**

- ①親同士の語り場の開設(お茶を飲みながら気軽に参加できる場)
対象者 通所している児童生徒保護者
その他の不登校児童生徒保護者
- ②不登校児童生徒保護者へ定期的な情報提供
- ③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の
専門家による個別面談
- ④オンラインによる相談窓口を開設
- ⑤「子ども総合支援センター」との連携
- ⑥給食の提供（再掲）



柱③ 教職員等の不登校に係わる研修

**目的：子ども支援に有効な心理や福祉の知識と技能の獲得
教職員の抱え込みや孤立の防止、孤独感の軽減**

対象：SaSaLANDスタッフ・市内学校教職員等

- ① 教育センター研修講座の開催 【児童生徒理解、特別支援教育】
- ② 学校教育課研修講座の開催 【登校支援関係】
- ③ SaSaLANDでの実地研修 【施設見学&活動参加型】
- ④ 初級講座・中級講座・上級講座などステップアップ式研修の実施
※信州大学と共同開催

例) 〔初級講座〕

子どもの心理支援の基礎となる部分（不登校、特支）

〔中級講座〕

子どもや保護者が抱える具体的な課題についての理解と対応

〔上級講座〕

事例検討・心理検査の見方など



信州大学との連携

対象者ごとに様々な取り組みを実施

児童生徒

- ・ 様々な教育的活動の提案
例：自然体験活動（夏キャンプなど）
メタバースを活用したオンライン活動
- ・ 学生の派遣



社会的自立を
促進



保護者

- ・ 親の会のアドバイザー
- ・ 保護者向け講演会



保護者の不安や
孤立感の解消



指導員・教職員

- ・ 支援、指導に係る助言
- ・ 教職員向けの研修会



資質の向上





SaSaサポーターミーティング(運営協議会)

活動にあたり、子どもたちの意見を反映しながら提案していただく組織

構成メンバー12名

所属団体	備考
ブルースカイ	親の会
七二会地区住民自治協議会	3名
信州大学教育学部	心理専門
信州大学教育学部	特別支援教育専門
信州大学教育学部	ICT (メタバース)
信州大学教育学部	野外教育専門
NPO法人 ながのこどもの城いきいき プロジェクト	民間団体
七二会小学校	教育
こども総合支援センター	相談
七二会支所	地元行政

第1回 令和5年4月26日 教育委員会室

- 活動内容と人員体制について
- 地域との連携について
- 工事内容について
- 子ども・保護者の意見や要望の反映について

【意見】

- ・子どもたちは、活動が面白いと感じたら積極的になる。
- ・送迎が一番難しい。子どもは朝起きるのが厳しい子や、途中で帰りたい子がいる。

第2回 令和5年6月2日 旧笹平分校

- 現地視察(工事内容含む)
- 現地見学会について
- 予算について

【意見】

- ・子どもが主役となる活動をしてほしい
- ・親が安心できる施設に
- ・子ども、親の不安感を聞いてもらえたら
- ・授業やテストを受けられるように
- ・SCやSSWと相談できる
- ・朝苦手の子どもの対応

オブザーバーとして
親の会他3名参加

SaSaLAND活動方針

日課の詳細は子どもが自ら選び、自ら決める

- ※昼食・掃除・ふりかえりの時間は設定
- ※多様な活動が選択できるように提案
- ※イベントについても選択肢を用意し、子どもが自ら決める



選択活動

自己選択・自己決定による活動
 ⇒自分のペースで自分らしく過ごす
 自ら課題を立て、情報を集めて整理し、表現する活動
 （イベント準備、地域交流、飼育栽培、制作販売など）
 ⇒自分の生き方を考えていく「資質・能力」を育成



一斉活動

短時間でも全員で同じ活動に取り組む
 （食事、清掃、運動、振り返りなど）
 ⇒他者と係わる機会が増える
 協働的な活動により所属感・一体感の向上



SaSaLAND活動の内容



多様な活動の選択肢（例）

探究活動（野外活動、制作活動等）

何もしない、メタバース

読書、イラスト、絵画、プログラミング

楽器演奏（ピアノ・ギター・太鼓・ハンドベル等）、音楽鑑賞、ビデオ鑑賞

運動、ラジオ体操、ヨガ

教科学習（ミライシード、すらら等のドリル学習、NHK動画、オンライン授業）

サークル活動（同じ趣味の子たちと活動）



1日のスケジュール（案）

時刻			内容
9:00	～	9:15	開室・ウォームアップ
9:15	～	12:15	活動
12:15	～	13:15	給食
13:15	～	14:30	活動
14:30	～	14:45	掃除
14:45	～	14:55	クールダウン
15:00			閉室

活動を行う上で
スタッフ体制
10名程度必要

当事者等からの意見聴取①

- 令和5年2月ながの育ちと学びの場フォーラム
- 令和5年3月教育支援センターの通所生及び保護者

施設整備に係ること

- ・子供がひとりで過ごせる部屋の確保をお願いしたい
- ・静かな場所がほしい ・本や漫画がほしい
- ・集団が苦手でも参加できる居場所があると嬉しい

反映予定

活動に係ること

- ・自分らしくいれる場所 ・安心して行ける場所 ・みずでっぼうしたい
- ・ボードゲームやカードゲームができる ・英会話がしたい ・調理実習をしたい
- ・卓球がしたい ・虫さがしをいっぱいやりたい ・動物を飼いたい
- ・音にびんかんだから、楽器はおいたりしないでほしい(聞こえないようにしてほしい)

反映予定

通う子どもや支援するスタッフに係ること

- ・性別年齢関係なく気軽に話せる人がいるところ ・無理強いしないところ
- ・勉強を教える人がいるところ ・何かを誘ってくれる環境がある
- ・いつだってせんせいにこれちがうっていわれたくない
- ・ほめなくていい だめって言わないで 興味はもってほしい 一緒に楽しんでほしい

スタッフ対象
研修会にて
周知し、対応

みなさんのアイデア、ご意見募集中！

子どもの居場所について、たくさんの「こんなところだったらいいな」を参考にしながら、今後の居場所づくりに活かしていきます。
子どもの居場所に願うこと（人・モノ・環境・活動など）をどんなことでも自由に付箋に書いて貼ってください。



当事者等からの意見聴取②

教育支援センター校外学習

令和5年6月23日(金) 会場: SaSaLAND

参加者 教育支援センター 通所生 23名 保護者 9名



SaSaLANDの感想

- ・景色がいい
- ・空気がきれい
- ・自然が豊かで気持ち良い
- ・和室がいい
- ・光がたくさん入ってくる階段がステキ
- ・窓が多いのがよい
- ・階段がちょっと怖い
- など

SaSaLANDに望む環境

- ・常時話し相手がいる
- ・好きな事をのぼせる
- ・快適に過ごせる
- ・疲れた時に休める
- ・のびのびと過ごせる
- ・明るく元気に楽しくられる
- ・もっと自分の意見がたくさん言えるところ
- ・一人になれる場所がほしい
- ・個人のスペースがほしい
- ・虫がいないところがよい
- など



メタバースを活用したオンライン活動

自宅に居ながらオンラインで通える居場所

ものづくりゲームのMinecraft（通称マイクラ）の世界に交流できる場を整備



様々な事情により学校や教育支援センター、
フリースクール等に通えない児童生徒

メタバースSaSaLAND



他者との交流



笹平分校を再現



様々な活動

自宅からの外出（登校や通所）



生活リズムの改善
やる気・活力の蓄積
意欲の向上

個別相談対応（不安の軽減）



メタバースを活用したオンライン活動

メタバースSaSaLAND概要

1. メタバース 信州大学教育学部三和准教授と学生が作成
使用ソフトは**Minecraft教育版**



信州大学教育学部三和研究室提供 愛媛大学の実践より

2. 使用端末 ノートパソコンやタブレット（1人1台端末）
3. 実施期間 令和6年4月運用開始 平日9時から12時を想定
4. 活動内容
- ・ 様々な建築（マイホーム、動物園、有名な建造物など）
 - ・ 遊び（鬼ごっこ、かくれんぼなど）
 - ・ イベント（建築コンテスト）
 - ・ 教育版プログラム（プログラミング、科学実験、歴史上の建造物見学など）
5. 相談対応
- ・ 個別の相談希望はSaSaLANDスタッフと連携して対応

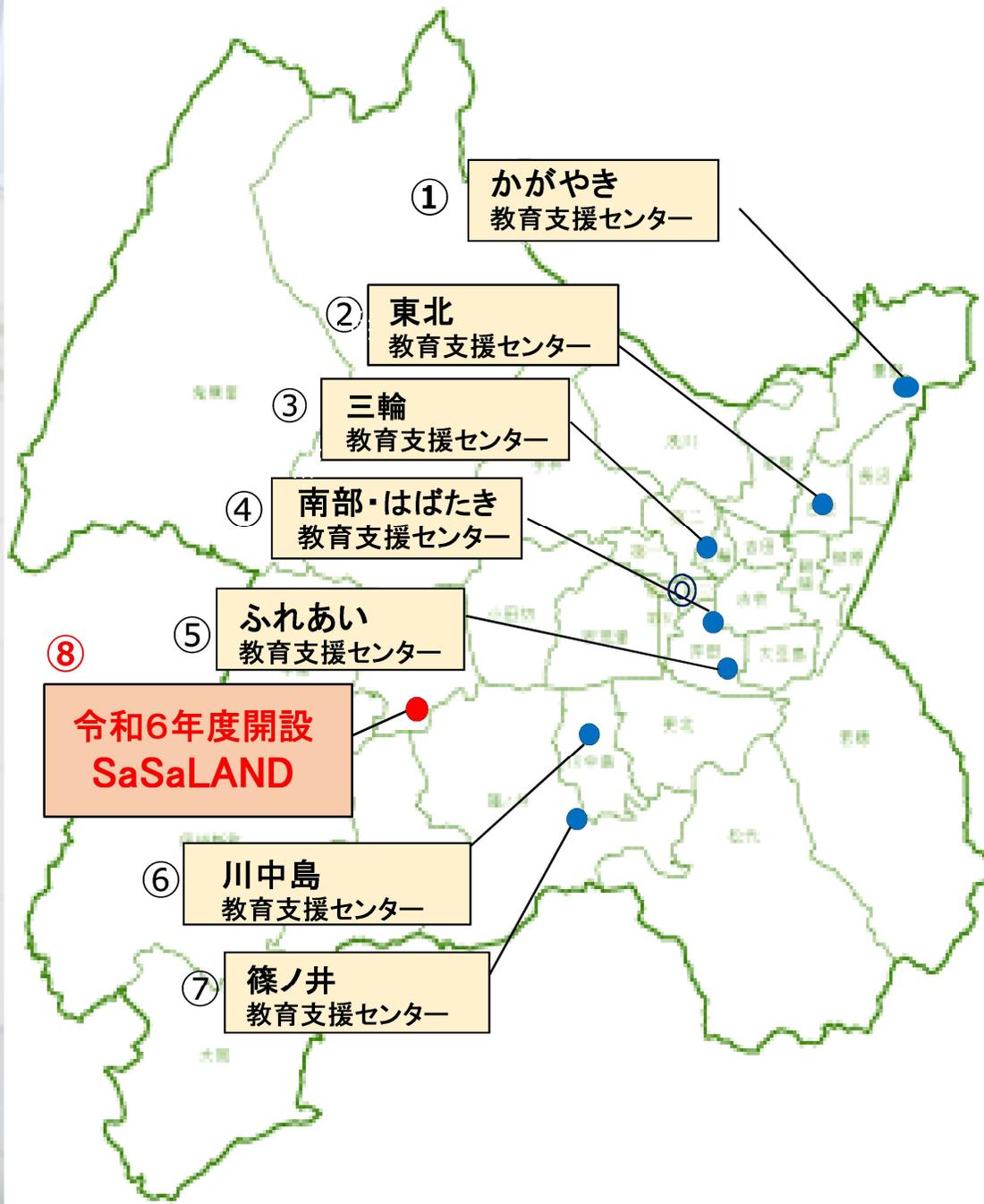
Minecraftのメリット

- ・ 世界一売れたゲーム
- ・ 今でも子どもに大人気
- 興味を引きやすい

Minecraft教育版のメリット

- ・ 導入のしやすさ（既存端末で負担なし）
- ・ 外部の侵入がなく安心
- ・ 通常版にはない様々なプログラム

令和6年度 教育支援センター体制一覽



番号	教育支援センター名	場所	備考 定員/日
①	かがやき R5再開	豊野支所	約10名/日
②	東北	古里支所	約10名/日
③	三輪	三輪小 北	約10名/日
④	南部	市教育センター 別館2階	約10名/日
④'	別室はばたき R5新設	別館1階	約10名/日
⑤	ふれあい	犀陵中 西	約10名/日
⑥	川中島	川中島小 西	約10名/日
⑦	篠ノ井	篠ノ井病院 北	約10名/日
⑧	SaSaLAND	元七二会小分校	R6開設 約50名/日

1日あたりの受入れ人数

R4: 60人 → R6: 130人